

期待できる成果

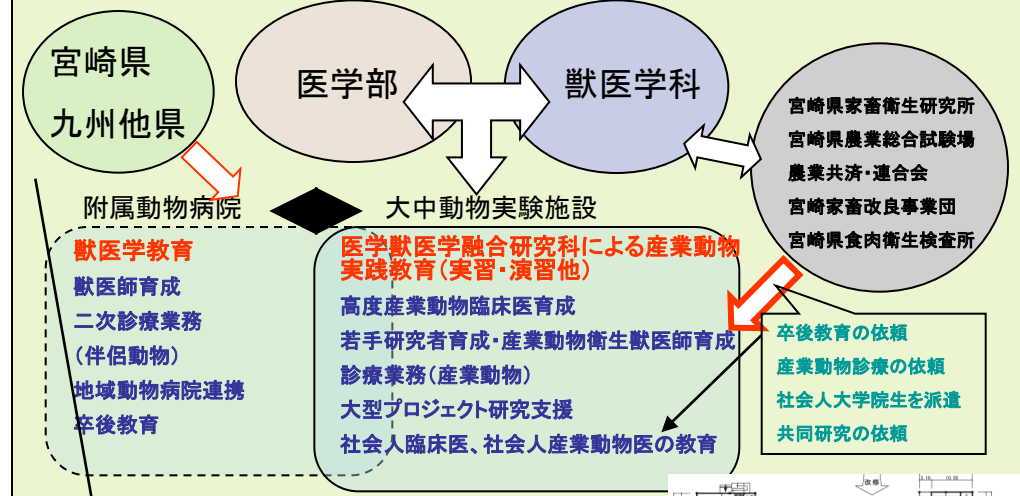
基本構想の柱

1. 高度な技術・指導能力のある産業動物獣医師養成のための環境の整備
2. 産業動物獣医師の大学院進学への啓蒙
3. 初期診断法の確立
4. 感染症が発生した時のシミュレーション教育
5. 高度な技術・指導能力のある産業動物(臨床・衛生)獣医師養成教育

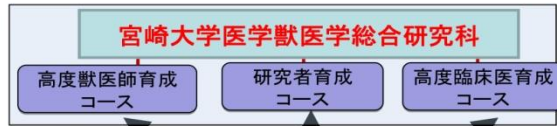
医学と獣医学連携の教育・研究のプロジェクト実施例

- ・文部科学省教育研究特別経費(H22-26)「医学獣医学融合による統合動物実験プロジェクトの展開と動物実験モデルカリキュラムの開発」
- ・農林水産省(H15-20):新規摂食調節物質グレリンとニューロメジニンUの基礎的、応用的研究
- ・科学研究費基盤研究(S)(H19-23):新規ペプチドを用いた畜産・獣医領域におけるトランスレショナルリサーチ
- ・JST育成研究(H21-23):尿中ナノベジクルを利用した新規非侵襲的腎臓病迅速診断法の開発研究
- ・21世紀COE(H14-19):生理活性ペプチドと生体システムの制御

大中動物センターの概念

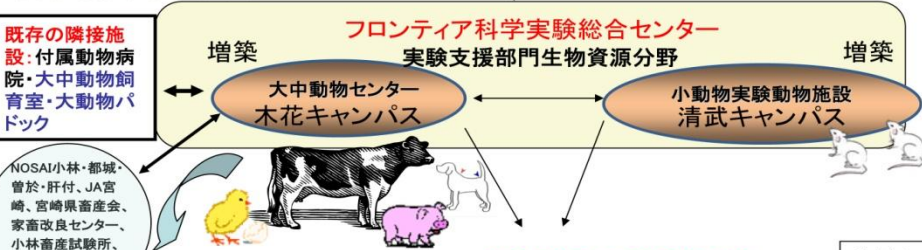


医学獣医学総合研究科による大・中・小動物を用いた教育の戦略的高度化推進事業



大動物:牛、馬
中動物:豚・山羊・羊・犬
小動物:齧歯類

実験動物施設の充実



二次的波及効果

- ・産業動物獣医師の大学院生としての受け入れ
- ・高度な産業動物臨床獣医師博士の輩出
- ・宮崎大学獣医学科の特色の全国への発信
- ・卒後教育、産業動物二次・高度医療の推進
- ・招聘専門家による実習、実践教育
- ・西日本の産業動物教育拠点・産学官連携大中動物教育・研究拠点
- ・東南アジア留学生の受け入れ

地域と連携した感染症防御対策の確立・感染症診断技術の確立・地域大中動物の診療・診断
BSE・鳥インフルエンザ・口蹄疫 など

動物実験手法の開発・改良、創薬研究、遺伝子・感染症教育、高度医療技術の創設などを盛り込んだ 実践教育の充実

地域との連携教育・地域との感染防御対策

高度臨床医・高度獣医師育成

九州各県への診療実績

宮崎大学獣医学科の県内での産業動物診療

定期的な学外検診のほか、農業共済組合や開業獣医師、畜産関連機関からの診療依頼や畜産振興事業への参画



診療車2台

川南町、木城町、高鍋町、新富町、西都市、綾町、串間市佐土原、田野、国富町、清武町

毎週月、火、水曜日



宮崎大学獣医学科の県外への産業動物診療



県内年間約3,000頭を診療

講演・技術指導 延べ50回/年

